

を牽引する世代において死因順位の第1位が自殺となっており、女性では20~34歳の若い世代で死因の第1位が自殺となっている。こうした状況は国際的にみても深刻であり、15~34歳の若い世代で死因の第1位が自殺となっているのは、先進国では日本のみであり、その死亡率も他の国に比べて高いものとなっている。」とあります。また、自殺者が3万人を下回った現状においても、「10年の急上昇の主な要因となった中高年男性の自殺死亡率は依然として高いものの、傾向としては低下傾向にあり、男性・女性とも若い世代の自殺死亡率が上昇傾向にあることがみて取れる。」としており、若年層への自殺対策を課題として挙げています。

平成24年の自殺を原因・動機別にみると、“健康問題”が最も多くの割合を占め、続いて“経済・生活問題”、“家庭問題”、“勤務問題”となっています。しかし、若年層は他の年齢層に比べてそれぞれの占める割合が小さく、様々な原因・動機で構成されています。こうした様々な原因・動機の中でも、特に“勤務問題”が注目されています。『平成25年度版自殺対策白書』（2013）では、「ここ数年の年齢階級別の「勤務問題」による自殺死亡率をみると、20歳代においては上昇し続けており、平成24年には全年齢階級の中で最も高くなっている。また、「勤務問題」以外においても、20歳代の自殺に多い原因・動機は、「経済・生活問題」のうち「就職失敗」、「学校問題」のうち「その他進路に関する悩み」など、いずれも就職の問題に関連しており、しかも自殺者は増加傾向にある。若年層の自殺の状況についてはまだ不明な点が多いものの、こうした就労問題を巡っては、先行き不透明な状況下で将来の進路を決めさせられ、厳しい就職活動を何とか勝ち抜いたとしても、経験年数が短いにもかかわらず重い仕事が課せられ疲弊してしまう現実を投影しているのかもしれない。（中略）「勤務問題」のみならず、関連が深い「経済・生活問題」、「学校問題」、そしてこれらが引き起こす「健康問題」に対し、若年層への効果的な取組を早急に実施していく必要がある。」とまとめています。

参考文献

内閣府 『平成25年度版自殺対策白書』

【3】お知らせ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

◇ 平成25年度 北海道自殺未遂者支援研修会

毎年、自殺対策強化月間事業として自殺未遂者支援研修会を実施していますが、今年度は若年層への自殺対策をテーマとして開催します。

参加費は無料で事前の申し込みは不要ですので、当日、直接、会場にお越しください。

日 時 : 平成26年3月15日(土) 13:30~16:30

会 場 : 北海道自治労会館 4Fホール(札幌市北区北6条西7丁目)

テーマ : 「自殺・自傷に傾く若者をどう支えるか~学校教育の現場で~」

基調講演 : 「思春期・青年期の抑うつ傾向・自殺傾向の実態とその対処について」

講師 北海道大学大学院 保健科学研究所 教授 傳田 健三 氏

講 演 ① : 「小中高での自殺予防の取り組みについて」

講師 北海道教育大学学校臨床心理学 教授 佐藤 由佳利 氏

② : 「室蘭工業大学における自殺予防の取り組みについて」

講師 室蘭工業大学保健管理センター 准教授 三浦 淳 氏

◇ 精神保健福祉センターでは、こころの電話相談を次の時間帯で受け付けています。

月曜から金曜日 9:00～21:00

土曜日曜祝日（12月29日～1月3日を除く） 10:00～16:00

Tel : 0570-064-556

※ご相談の電話が集中しますと、つながりづらい状態になりますがご了承ください。

◇ HP・携帯版HPをご覧ください

北海道地域自殺予防情報センターのHPを開設しています。最新の北海道の状況を掲載しており、より情報を見やすく、分かりやすくお伝えできるよう心がけています。

パソコンHP URL : <http://www.pref.hokkaido.lg.jp/hf/sfc/jisatutaisaku.htm>

また、携帯電話で見ることができる携帯版HPも開設しています。警察庁および北海道警察から公表された統計資料をもとに、北海道における自殺の状況を掲載しています。こちらも併せてご覧ください。

携帯HP URL : <http://www.pref.hokkaido.lg.jp/hf/sfc/i/joukyou.htm>

【4】編集後記・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

日は少しずつ長くなってきたものの、まだまだ寒い日が続いております。

さて、来月3月は国の定めた自殺対策強化月間です。“お知らせ”にもありますが、北海道でも事業の一つとして自殺未遂者支援研修会を行います。テーマは「自殺・自傷に傾く若者をどう支えるか～学校教育の現場で～」で、若年層への自殺対策になります。興味のある方は是非ご参加ください。

次号 Vol.57号は、2014年3月末に配信予定です。

お問い合わせ先

北海道立精神保健福祉センター
札幌市白石区本通16丁目北6番34号

Tel 011-864-7121

Fax 011-864-9546

URL <http://www.pref.hokkaido.lg.jp/hf/sfc/>

Mail hofuku.seishin1@pref.hokkaido.lg.jp